

架け橋期のカリキュラム(下地こども園)

宮古島市 幼小接続 ビジョン	安心・安定 (自分を発揮してのびのびと活動する子)		自立 (やってみいたいことに夢中になる子)		自信 (自己肯定感を高め、生き活きと活動する子)		協同 (友だちの良さに気づき、みんなと協力して活動する子)		
	知識及び技能の基礎 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする				思考力、判断力、表現力等の基礎 気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする		学びに向かう力、人間性等 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする		

育みたい 資質・能力	知識及び技能の基礎 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする				思考力、判断力、表現力等の基礎 気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする				学びに向かう力、人間性等 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする			
---------------	---	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--

時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
----	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

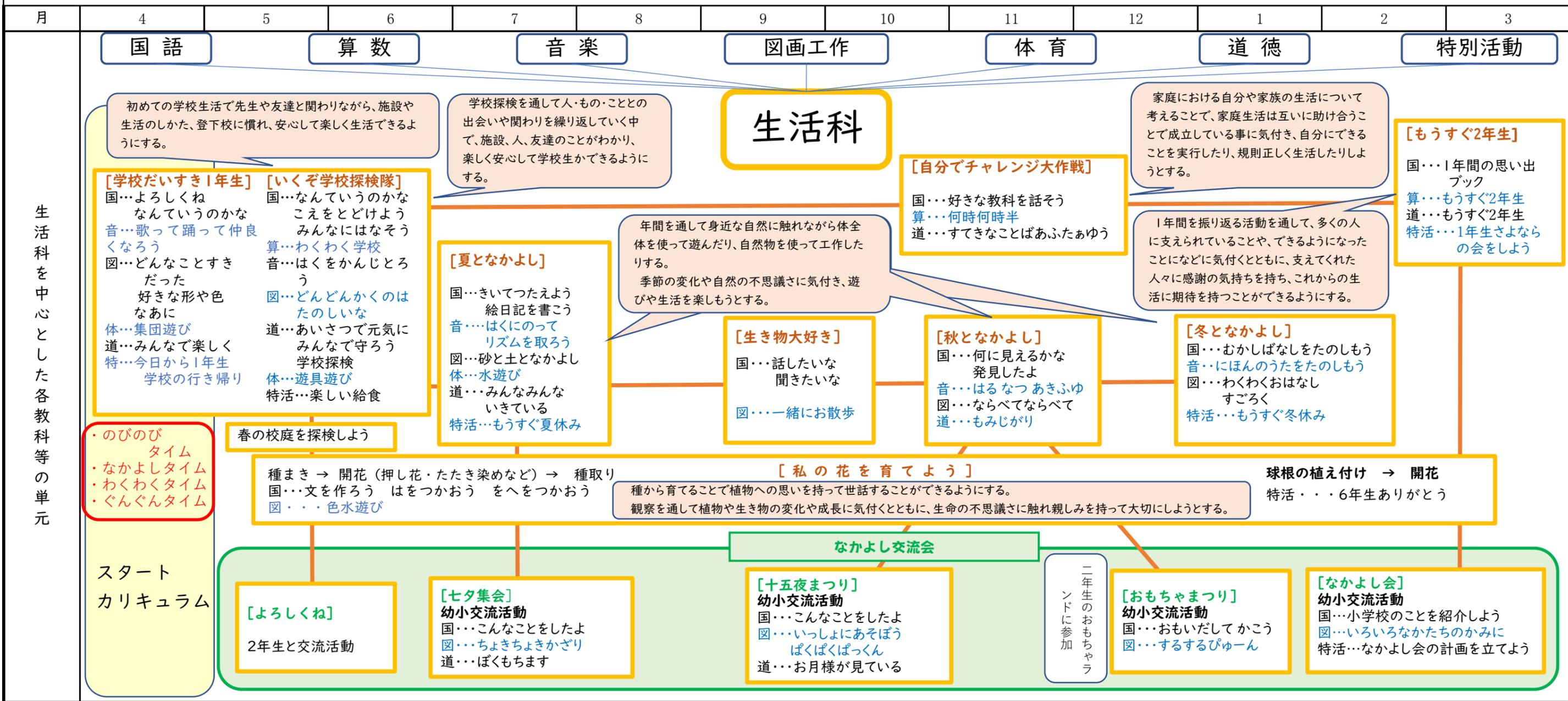
幼児の姿	○新しい生活に不安を抱いている子もいるが、喜んで登園する園児の姿も見られる。 (健康な心と体)	○気の合う友達と積極的に取り組む一方で、自己主張も強くなり、トラブルも増える。 (道徳性・規範意識の芽生え、協同性)	○友達とのかかわりの中で、自分の意見を主張したり相手の意見を受け入れたりしながら、遊びを発展させるようになる。 (自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え)	○友達の考えを聞いたり、自分の思いを伝えたりしながら、折り合いをつけて遊ぶ。 (協同性、言葉による伝え合い)	○グループや、クラスのとまりが見られるようになり、互いの良さを認め合い、役割分担しながら遊びや生活を進めていこうとする姿が見られるようになる。 (自立心、協同性)
	○園生活の流れを把握したり、園生活に必要な決まりがあることを知り、守ろうとする。 (道徳性・規範意識の芽生え、健康な心と体)	○園生活や当番活動について、見通しをもって取り組もうとする。 (自立心)	○体を使った遊びが多くなり、競い合ったり、認め合ったりする中で、共通のめあてが持てるようになり、友達と力を合わせて遊ぶおもしろさを味わうようになる。 (健康な心と体、協同性)	○運動的な遊びが盛んになり、ルールや勝敗のある遊びに関心が高まっている。 (健康な心と体、道徳性・規範意識の芽生え)	○共通の目的を持ち、これまでの経験を生かして、主体的に活動しようとする。 (健康な心と体、自立心)
	○緊張感はあるが、年長になった喜びを感じ、遊びや生活に自分からすすんで取り組む姿が見られる。 (自立心)	○自然の豊かさを感じ取り、身近な動植物に興味関心をもって関わろうとする。 (健康な心と体、自然との関わり・生命尊重、豊かな感性と表現)	○文字や数に興味を持って関わり、遊びや活動に取り入れて楽しむ。 (数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚)	○園生活に見通しをもち、生活に必要な活動を自分でしようとする。 (自立心)	○自覚から自信を持って行動できる園児が多くなっていく。 (自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え)

指導上の配慮事項 年間を通して環境の構成される活動★先生の関わり	○生き物観察・飼育(虫取り) (自然との関わり、生命尊重、思考力の芽生え、豊かな感性と表現) ◇虫かごや虫取り網を準備し、いつでも虫取りができる環境を作る。 ◇飼育ケースは観察しやすいように、透明なものにする。 ◇園児の発見した生き物に関連する絵本や図鑑を準備する。 ★身近な自然と触れ合う中で、自然現象への興味・関心を高めたり、生命の大切さに気づいたりできるようにする。 ★発見や気づきが得られるような言葉かけをする。 (生活科、動植物の飼育・栽培) 【にじいろシート別添え④】	○色水遊び(絵の具、花、木の実、食紅) (自立心、協同性、豊かな感性と表現) ◇多様な素材、材料を用意し、試行錯誤して楽しめるようにする。 ★園児の気づきや発見を共有し、一緒に楽しむ。 ★気付いてほしい方法に関しては、傍でやってみせる等する。 (生活科、自然や物を使った遊び)	○つき遊び・粘土あそび (豊かな感性と表現、思考力の芽生え、数量や図形、標識や文字などの関心・感覚) ◇イメージした物が形に出来るよう積み木やモール、枝、タングラムを用意する。 ★イメージした物を具体化できるような声かけを工夫する。 ★園児の発見に共感したり、気づきを共有する。 (図画工作科、工作に表す活動、立体に表す活動) (算数科、図形、数と計算) 【にじいろシート別添え③】	○当番活動 (自立心・共同性・道徳性、規範意識の芽生え) ◇子どもの自発的な気づきから、行動し達成感を味わえるようにする。 ★毎日の掃除・給食等の当番や誕生日会の司会当番など、楽しみながら責任感を持ち、取り組めるようにし、役立ち感が味わえるようにする。 (生活科、学校と生活、自分の成長) (特別活動 学級活動)
	○振り返り・朝の集まり (言葉による伝え合い、豊かな感性と表現) ◇園児と相談できる機会を設けて、生活場面での取り組みなどを充実させる。 ◇楽しかった出来事など自分の思いを言葉にして、友達に伝える楽しさが味わえるようにする。 ★個々の感性を刺激できるような活動内容や環境構成を準備し(ホワイトボードなど)、気づきや気持ちを引き出す言葉掛けを工夫していく。 ★安心して伝えられるように手を繋いだり、発表者が分かるように印になるもの(ぬいぐるみ等)を持って、発表する。 (国語科、話すこと、聞くこと) 【にじいろシート別添え②】	○集団遊び (協同性、健康な心と体、言葉による伝えあい) ◇色々な集団遊びが楽しめるように、遊びを提案したり、存分に体を動かす事が楽しめるようにする。 ★なるべく園児同士で相談し解決出来るよう見守り、必要に応じて仲介に入る。 (体育科 走・跳の運動遊び、体づくりの運動あそび、ゲーム)	○絵本・紙芝居の読み聞かせ (言葉による伝え合い、豊かな感性と表現・思考力の芽生え) ◇季節や園児の興味に合わせた絵本や園児に必要な内容の絵本を選択する。 ★絵本の内容を理解しながら聞けるように読み聞かせ後に内容を振り返る。 ★言葉には様々な表現があることに気づかせる声かけをする。 (国語科 読むこと・話すこと・聞くこと)	○野菜の観察、栽培 (自然との関わり、生命尊重、豊かな感性と表現) ◇野菜を育てる中で生長がわかるように、写真や絵を(図鑑など)を掲示していく。 ◇収穫の目安の大きさが測れるcmを記入した定規の代替えのものを作る。 ★友達や保育教諭と生長の面白さや嬉しさ等を共感し合い、園児同士がつながるような関わりをする。 ★cmだねなど数字や記号に触れ、数や記号に興味を持てるような関わりをする。 (生活科 植物の栽培) (算数科 数と計算)

	1学期	2学期	3学期
幼小の行事連携・交流	・交通安全指導 ・情報交換会 ・七夕交流会 ・公開保育	・広域避難訓練 ・秋まつり交流会 ・中学校との交流会 ・情報交換会	・仲良し交流会 ・5年生との交流会 ・情報交換会

架け橋期のカリキュラム (宮古島市立平下地小学校)

宮古島市 幼小接続 ビジョン	安心・安定 (自分を発揮してのびのびと活動する子)	自立 (やってみたいことに夢中になる子)	自信 (自己肯定感を高め、生き活きと活動する子)	協同 (友だちの良さに気づき、みんなと協力して活動する子)
育みたい 資質・能力	知識及び技能		思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間力



指導上の配慮事項	★幼児期の学びは連続していることを踏まえ、合科・関連的な指導を行うとともに、入学当初はモジュールなど(10~15分)弾力的な時間割を編成する。 ◇子ども園や保育での遊びがいつでもできるように環境を整える。 ★大好きな歌や踊り、絵本などを取り入れ安心感を持たせる。(のびのびタイムなど) ★新しい友達と関わるような場を作る。(なかよしタイム・ペア学習・机の配置等) ★担任以外の先生方による読み聞かせや異学年交流等、多くの人と関わるようにする。 ◇視覚的支援を大切にする。(1日の流れ・片付けの仕方・イラストカードなど) ★「園ではどうしていたの?」と幼児期の学びを引き出し、主体的な活動につなげる。	★生活のリズムを戻しながら、学校生活のルールを再確認したり、2学期の目標を立てたりすることで、2学期への期待が持てるようにする。 ★行事への取り組みを通して、友達と協力する楽しさや苦手なことにもチャレンジしようとする粘り強さ、達成感を味わえるようにする。またふり返し等を通してそのプロセスを価値付け、自信につなげられるようにする。 ◇地域のよさや地域の伝統行事のよさを感じられるように、地域の自然や行事との出会わせ方を工夫する。 ★異学年交流の場を設定し、上学年の優しい関わり方を園児との関わりにつなげていく。	◇1年間の行事カレンダーを通して、様々な活動を体験してきたことに気付かせ自らの成長やできるようになったことを振り返ることができるようになる。 ◇自分たちの学びや経験を新しい1年生に伝える活動(交流)を設定する。 ★自分たちが入学前に抱いていた思いや願いを思い起こさせ、お招き会をどのような会にしたいか話し合わせ、児童の主体的な活動につなげる。 ★学習内容の定着を図るとともに、1年間の成長を認め、2年生に進級する期待を持たせる。
	1学期	2学期	3学期
幼小の行事連携・交流	・1年生スタートカリキュラム見学訪問 ・春の遠足 ・交通安全教室 ・公開授業 ・交流七夕集会 ・保幼小エリア連絡会 ・こ小中合同保育参観及び合同研修会	・運動会練習見学 ・公開保育、公開授業 ・こ小合同虫さがし&1年生「虫の発表会」 ・秋さがし ・保幼小エリア連絡会	・新1年生お招き会 ・保幼小エリア連絡会 ・音読発表会 ・次年度の引き継ぎ(情報交換など)

幼児期の遊びを通した学びと国語科（話すこと・聞くこと）のつながり

5歳児 〈環境を通して総合的に学ぶ姿〉

1年生 〈体験活動を通して自覚的に学ぶ姿〉

〈幼児期の遊びを通した学び〉

- いろいろな遊びを通して、工夫したことや楽しかったことを振り返り詳しく伝えようとしている。
- 思いの実現に向けて自分の考えを伝えたり、友達の話の聞いたりしてたことで成功体験を味わい、友達と話し合うことのよさに気づいている。

遊びを通した学び

困ったとき…

主体的な遊びを引き出す保育教諭の援助と環境構成

園児の気持ちを受け止め、どうしたいのか園児の思いを聞く。思いが伝わると、「○○だから○○がほしいんだね」等園児の思いを言葉にして返す。その関わりからどう言葉で表現するのか自然に身につけられるようにする。



遊びを通した学び

小麦粉粘土遊び…

「お水はどれくらい?」「少しずつね」と自分達で考えたり、やりとりを交わしたりしながら取り組み、完成させようと水や小麦粉、油の量を調整し、取り組む。思ったように完成ができたことで達成感と充実感を味わい、「できた」喜びから成功体験を通して、他のことにもチャレンジしようとする姿を目指す。

主体的な遊びを引き出す保育教諭の援助と環境構成

道具の数を少なくしたり、スペースを狭くすることで自然と友達同士でのやりとりを交わし、友達と一緒に考えて取り組める環境を作る。



遊びを通した学び

振り返り…

「○○と○○と(友達の名前)一緒に色水をして楽しかった」楽しかったことを言葉にして保育教諭や友達に伝える。

主体的な遊びを引き出す保育教諭の環境構成

園児が安心して伝えられるようにぬいぐるみを使ったり、手を繋いだりする等援助する。また、より詳しく伝えられるように質問するなどし、そこから自然と伝える力を育てていく。

幼児教育を通して育まれた10の姿

言葉による伝え合い

思考力の芽生え

単元名 なにに 見えるかな (6時間/話聞)

目標

【知識及び技能】

○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。

【思考力・判断力・表現力】

○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に感心を持ち、相手の発言を受けて話しをつないでいる。

【学びに向かう力・表現力】

○進んで話を楽しくつなぎながら、学習の見通しを持ってつなぎながら質問したり応答したりして、グループで話し合おうとしている

授業展開例 第5時

学んできたことを生かしながら、話をつなげるよさに気づく。

園での遊びをふり返る

T: 園で小麦粉粘土を作った時わからないことがあったらどうしてたの?

C: 先生に聞いたり、お友達と話し合ったりしてたよ。

T: 相談しながら作ったんだね。

C: みんなの考えを合わせたら上手にできて嬉しかったな。

困ったときは自分の思いを友達に伝えたり、相談したりして解決してきたことを想起させ、本単元の学習につなげる。

めあて まなんだことをいかしながら、ともだちとはなしをつなげよう

T: 友達に話すときに大切なことはなんですか。

C: わかりやすく話す。大きな声で話す。

T: 友達の話の聞く時に大切なことってなんですか。

C: うなずきながらきく。うけとめる。

T: 分からないときはどうしたらいいの。

C: 質問する。

T: さすが!たくさん話し合ってきたんだね。【価値付け】

秋の素材で作った作品が何に見えるか話し合う。

教科書のモデル文を元に大切なことを確認する。

T: 話がつながるとどうですか? C: 楽しい。たくさん話せる。

T: どんなことに気をつけるといいのかな。

C: 相手の話を真剣に聞く。詳しく知りたいときは質問する。

ふりかえり

・話をつなげると詳しく分かるから楽しい。質問したら、前よりよくわかった。・安心して話せた。

・うなづいて聞いてくれたから嬉しかった。・これからも話をつなげて生きて安心して話せた。

【はなしをたのしくつなぐことばの力】

○受け止める

・いいね。・なるほど

○質問する

・○○が～ですか?

・○○はなにをしていますか?

幼児期の遊びを通した学びと生活科（いきものとなかよし）とのつながり

資質・能力がつながる自己発揮する姿の記録

*参考「子どもの学び見取りシート」「週案スタンダードセット」

5歳児 〈環境を通して総合的に学ぶ姿〉

1年生 〈体験活動を通して自覚的に学ぶ姿〉

カエルをみつけたよ！



雨上がりの小学校グラウンドにカエルがいることを発見した。また、繰り返し探すことで草が茂っている場所の方がよくカエルがいることにも気付いた。

自然との関わり・生命尊重

思考力の芽生え

飼ってみたい！①

飼育ケース

水

蛙

お家作り（第1弾）
捕まえたカエルを『飼ってみたい』と持ち帰る。
自分たちで考え、カエルのお家作りをする。（カエルが浮くお家）

協同性

自然との関わり・生命尊重

カエルのお家完成！



園児たちが考えるカエルが住みやすい環境を作ると回復した。なぜ、このお家がいいんだろう？という疑問を持っている様子だったが、カエルが回復したことを喜んでた。

飼ってみたい！②



①のお家作りでは、水が多かったり、餌を食べずにカエルの元気がなくなってきていることに気付く。どんなお家が良いのか絵本を通して考える。園児同士で、どうしたらよいのかお互いに思いや考えを伝え合っていた。

言葉による伝え合い

思考力の芽生え

協同性

もっと知りたい！



「このカエル何って言うんだろう？」と疑問に思い、保育教諭や友だちと一緒に図鑑で調べる。観察ケースで体の模様などを観察する。

自立心

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

単元名 いきものとなかよし(配当時間6時間+その他) ○活動時期 9月~10月

〈幼児期の遊びを通した学び〉

○繰り返し生き物を探す遊びをしていく中で、徐々に生き物によって住みかがことなることに気づいている

○生き物を育てていくなかで、観察したり図鑑で調べるなどして、生き物のお世話の仕方について考えている。 → 「いきものとなかよし」の単元へつながる。

目標

【知識及び技能】

○身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付いている。

【思考力・判断力・表現力】

○身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、生き物の育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけている。

【学びに向かう力・表現力等】

○身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

授業展開例

身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。

園での遊びを振り返る

T: 園では、どんな生き物を育てたことがある？

C: カエルとかバッタとかあるよ！

T: お世話とかしていたかな？

C: カエルのお世話はしたことがあるよ！

どのようにお世話をしてきたかを思い出させながら、めあてへとつなげたい。

めあての確認 いきもののお世話をしよう！

T: どんな生き物のお世話をしてみたいですか？

C: バッタ！ コオロギ！ カメ！ ※様々な生き物が発言されると想定

T: では、校庭で生き物探しをして、観察したり、お世話をしましょう。

一定期間、飼育環境を整えて、生き物を観察し、飼育する。

ふりかえり

- ・エサを食べている様子が可愛かった。
- ・水槽の水替えて大変だな。

活動を終えた後は、生き物を元いた住みかへ帰してあげる。 → 生き物の命についても考えさせたい。

幼児期の遊びを通した学びと算数科（図形）とのつながり

5歳児 〈環境を通して総合的に学ぶ姿〉

<幼児期の遊びを通した学び>

○積み木遊びを通して、見る角度によって立体図形の形が違うことや、積み木を合わせることで違う形になるなど、形の特徴を見いだしている。

○棒をつなげると、三角や四角の形ができることに気づいている。「かたちづくり」の単元へ



遊びを通した学び
枝を組み合わせ、色々な形を作り形に親しみを持つ。



遊びを通した学び
草遊びの中で、三角ができたことを発見した。



遊びを通した学び
片付けではなく、形をぴったりに合わせてきれいにはまるように予想しながら整えていた。



遊びを通した学び
サイコロをイメージして作っていた。1には一つの丸、2のところには2つの丸と数を数えたり、数の順番を考えながら書き入れていた。

主体的な遊びを引き出す保育教諭の環境構成
積み木の環境があり、そこからピタゴラスイッチが関連付けられ、サイコロを作るうとする。制作コーナーに段ボールがあり、素材を自分で選び、作る。



遊びを通した学び
「三角を反対側から見たら四角に見えるよ」「四角は四角で、丸は丸」と形の不思議さ面白さに気付く。

主体的な遊びを引き出す保育教諭の環境構成
積み木を組み合わせることで、色々な形が作れ、三角と三角を組み合わせると四角になる！キャンディーみたい！と形に親しんでいる。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- ・数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ・思考力の芽生え
- ・豊かな感性と表現

1年生 〈体験活動を通して自覚的に学ぶ姿〉

単元名 いろいろな かたち（3時間） 関連単元：かたちづくり（11月）

目標

【知識及び技能】

○身のまわりにある立体の観察を通して、形の特徴をとらえたり仲間分けしたりすることができる。

【思考力・判断力・表現力等】

○身のまわりにあるものを、色や大きさ、材質に関係なく形としてとらえている。

【学びに向かう力・表現力等】

○これまでの体験をもとに、身のまわりにある立体図形に親しみを持って関わり、形の特徴に目をつけるよさや学ぶ楽しさを感じている。

授業展開例 第3時

積み木の面を写し取り、面の形の特徴を利用した絵を描くことを通して平面図形に親しむ。

園での遊びをふり返る

T: 園ではどんな形遊びをしたの？

C: 木の枝とか草で三角とか四角を作ったり、積み木を並べて、でっかい家を作ったよ。ピタゴラスイッチも作ったよ。・積み木を片付けるときにぴったりなるようにしたよ。

T: **一つの積み木は、全部同じ形かな。**

C: 四角だけの積み木も、三角と四角がまざっている積み木もあるよ。

T: **すごいね！形のお勉強はバッチリだね。**

園での気づきを想起させ、めあてにつなげる

めあての確認 かたちをうつしてえをかこう

T: 今日は、積み木の形を写して、絵を描いてみたいんだけど、園でもやったことある？

C: 空き缶を写して○とか□とかをかいたよ。

T: 積み木を写してどんな絵ができそう？

C: 四角でプレゼントができそう。三角と三角でチョウチョが作れそう。

友達の絵を参考にできるようにグループで活動する。



ふりかえり

- ・積み木を写してミカンやおにぎりを描いて楽しかった。
- ・〇〇さんのカタツムリの絵が上手だった。
- ・〇〇さんに教えてもらったら上手にできた。

挿絵 啓林館